

2-1-(5)産業連携の推進
優先項目にかかる取り組み一覧

| 団体名 | 取り組みの方向性 | 期待する効果 | 具体的な取り組み | 各年度の具体的取り組み | | | |
|------------|---|---|--|---|---|---|---|
| | | | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
| ぷらっと家(ホーム) | ・水産業(アカモクの軸)と農業(畑の肥料に利用)の連携 漁業者が採取したアカモクの芯の部分を廃棄処分していたものを譲ってもらい、野菜作りの肥料として活用し、フリーマーケットで野菜を販売していく。(手作りテキスト(資源のテキスト化)も行っていく。) | ミネラル豊富な野菜の生産、付加価値の向上 | 野菜の販売 | じゃがいも 空豆 さつまいも トマト きゅうり なす の栽培と販売 | 品種を増やし、継続 | 同左 | 同左 |
| | | | | 目標値 | 20万円 | 販売物品の種類増加 売上UP | 販売物品の種類増加 売上UP |
| 志摩市商工会 | 志摩市商工会は、平成27年11月に経済産業大臣により認定された経営発達支援計画に基づき、下記の計画を実施し、事業所の経営力向上を支援します。 [計画内容] 1.地域の経済動向調査に関すること 2.経営状況の分析に関すること 3.事業計画策定支援に関すること 4.事業計画策定後の実施支援に関すること 5.需要動向調査に関すること 6.地域経済の活性化に資する取り組み ※参考資料:中小企業庁HP 認定経営発達支援計画の内容について(URL) http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/shokibo/nintei_download/24-07.pdf [提言書に関連する計画(ビジネスマッチング)] 志摩市商工会では、出口戦略(収益化)を重視し、生産者の販路開拓スキル向上とビジネスマッチングに特化した取り組みにチャレンジしています。生産者や加工業者が、流通にのせるための価格設定のノウハウやバイヤーとの交渉技術等の勉強会を重ね、その成果を実践する場として「御食つ国・志摩ええもん商談会」を開催しています。また、「地方銀行フードセレクション」という全国規模の商談会に銀行と連携し、参加する支援もしています。その他、県内外で開催される商談会や販売会への参加も支援します。 ～平成28年度の主な商談会・販売会～ 平成28年 ・にっしん夢まつり(日進市役所駐車場:9月18日) ・御食つ国・志摩ええもん商談会(志摩市商工会館:9月29日) ・御食つ国・志摩ええもん物産展(志摩市商工会館:10月1日) ・郡上八幡ふるさとまつり(郡上市八幡町市街地:11月6日) 平成29年(予定) ・美味しい伊勢志摩 商談会in四日市(四日市市商工会議所:1月24日) ・グルメダイニングショー(東京ビッグサイト:2月8～10日) | 商談会や販売会へ参加する事業者や出品品目も年々増え、有名百貨店や大手流通業者とも取引に発展するなど、大きな成果を挙げている事業者も出てきており、全国に出ても十分通用する商品が育ちつつあります。こういった実績を踏まえて、今まで参加してきた事業者と新しく参加する事業者が切磋琢磨し、中には連携することで、志摩市の事業者の経営力が底上げされることを期待します。 | 提言書に関する計画(ビジネスマッチング)についての取り組みとして、例年開催している「御食つ国・志摩ええもん商談会・物産展」や「地方銀行フードセレクション」などの全国規模の商談会に参加する事業所の支援をします。 | 志摩市商工会主催の商談会開催。 大都市等での商談会へ参加。 県内外での物産販売会(主催or参加)。 | 志摩市商工会主催の商談会開催。 大都市等での商談会へ参加。 県内外での物産販売会(主催or参加)。 | 志摩市商工会主催の商談会開催。 大都市等での商談会へ参加。 県内外での物産販売(主催or参加) | 経営発達支援計画の結果を踏まえた新たな支援計画の策定とともに販路開拓のためのビジネスマッチング事業に取り組む。 |
| | | | | 目標値 | 主催商談会:1回 大都市等での商談会へ参加:1回 県内外での物産販売会(主催or参加):5回 | 主催商談会:1回 大都市等での商談会へ参加:1回 県内外での物産販売会(主催or参加):5回 | 主催商談会:1回 大都市等での商談会へ参加:1回 県内外での物産販売会(主催or参加):5回 |

2-1-(5)産業連携の推進
優先項目にかかる取り組み一覧

| 団体名 | 取り組みの方向性 | 期待する効果 | 具体的な取り組み | 各年度の具体的な取り組み | | | |
|---------------------|--|---|---|---|--|---------------------|---------------------|
| | | | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
| 伊勢志摩スタンドアップパドルボード協会 | 伊勢志摩国立公園の自然環境の中で、産業機関と教育機関と協力をし、様々な体験プログラムを行っている中、継続性を考えると共に各自が運営し、結果を出し成果を評価する。 (例) ・真珠養殖体験、学生や一般者にて養殖場を再生させ、真珠生産、販売させる(真珠組合等の協力の元)。 ・農業、田・畑等の場所を有地管理させ、米・花・野菜等を生産・販売させる(農協等の協力の元)。 ・漁業、海女体験・魚の養殖などを行う(漁協などの協力の元)。 パドルボード体験者や体験プログラム企画に取り込まれ体験会場に隣接させて、様々な人たちに事前と溶け込んでもらう。(産業各機関、関係者の協力の元) | 各地元関係者(生産者)機関などに興味を持つチャンスを与えることにより、様々な方にてアイデアや新たな流通の形が生まれ、現在から未来に繋げられる。 | 左記に上げた内容を中心に各関係機関が窓口を作り、協力・提携して協議しながらチャレンジプロジェクトを作り上げる。 (教育委員会等の協力が必要となる) | 地域全地区、小・中・高校生等に体験できる機会を作り、自分達の生活する地域の特産や事業のあり方や環境と継続について考える。 ・養殖について大切な事 ・生産について大切な事 今後の地元で大切な事の取り組みについてフレッシュな志摩体験プロジェクトを展開する。 | 体験者と新たな体験者と共に前年度のプロジェクトの成果、新たな取り組みの協議等を行い、地元体験者の方々に中心となっていたいただき、市内外からの体験者を募り産業の継手を生み出していく。 | 継続 | 継続 |
| | | | 目標値 | 30% | 50% | 流動的 | 流動的 |
| 志摩市観光協会 | 産業間連携機会の創出 同事業において志摩市において豊かなその恵みである「食」のお奨め店舗を創ることで、名物料理創出活動の一層の発展を図るなかで、地域の農水産物の利用促進、生産者・事業者の直接交流、情報交換の機会を増やす。 | 地産地消促進。新たな仕掛けによる地域連携、市内滞在時間の延長、消費単価の向上 | グルメスタンプラリーイベント「志摩S1ぐらんぷり」開催。「食」のお奨め店舗を創る事で、名物料理創出活動の一層の発展を図り、志摩市の食の魅力の発信ならびにグルメ観光に寄与することを目的とする。 ※「志摩S1ぐらんぷり」の「S」は志摩市(Shima)、食(Syoku)を表します。 | 平成29年2月より同イベントのプレイベント的に第1回「志摩S1ぐらんぷり」を実施。平成29年10月(予定)より、イベント期間、参加店舗(カテゴリー)など拡大し実施。 | 継続 | 継続 | 継続 |
| | | | 目標値 | 市外参加者比率10% | 以降5年で市外参加者を50%を目標にする | | |
| 安乗海女団体(三重外湾漁協) | ・ホテルとの連携による話し合いで志摩の特徴は、海女漁ということである安乗地区の海女漁を身近で感じてもらい観光客の誘致及びアワビ・サザエ等の需要拡大を図る。 | ・観光客の増加 | 海女漁の見学により古来より続く伝統に触れる。 | 観光業者と海女団体、漁協との協議および実施 | 実施及び検証 他地区漁協との協議 | | |
| | | | 目標値 | 未定(集客数〇〇人) | 未定(集客数〇〇人) | | |
| 三重県水産研究所 | 稼げる里海づくりを進めるうえで、一次、二次、三次産業の関係者が連携し「地域資源」を有効に活用していくことが重要ですが、商品化する地域資源を育む海洋環境の保全と商品となる資源の生産量の増産、安定化など既存産業基盤の強化も図る必要があり、英虞湾、的矢湾の海峡環境モニタリングと重要な産業であるアオサ養殖に関する技術開発を行う。 | ・赤潮等による漁業被害の未然防止及び持続的な生産の場の確保 ・養殖アオソリ類の生産量の増加、安定化 | 英虞湾、的矢湾の海洋環境モニタリングの実施 | 海域環境のモニタリングの実施と情報発信 | 海域環境のモニタリングの実施と情報発信 | 海域環境のモニタリングの実施と情報発信 | 海域環境のモニタリングの実施と情報発信 |
| | | | ヒエグサ(アオサ)養殖の生産安定化、増産に係る技術開発 的矢湾におけるウバアオリ生産支援 | 収穫量安定化に係る技術開発の実施 | 収穫量安定化に係る技術開発の実施 | 収穫量安定化に係る技術開発の実施 | 収穫量増大に係る技術開発の実施 |
| 目標値 | — | — | — | — | | | |
| 三重県真珠養殖連絡協議会 | 真珠の養殖、加工、販売に携わる業者が連携して志摩産の真珠の情報発信を行い、販売の促進に努める。 | 志摩産の真珠に対する評価と価格の向上 | 三重県真珠振興協議会と連携してPRを実施 | 詳細は未定 | 詳細は未定 | 詳細は未定 | 詳細は未定 |
| | | | 目標値 | | | | |
| 鳥羽磯部漁業協同組合 | 農業者と意見交換会を持ち、農業・水産業でコラボできる取り組みを探る。(今まで廃棄されていた水産物を農業でつかってもらおう。) | 農・水産物の価格低迷を何らかの付加価値をつけて消費を拡大したい。 | 農業・水産業の連携 | 農業者との意見交換会 | 未定 | 未定 | 未定 |
| | | | 目標値 | 農業者との意見交換をし、今後どのように連携が出来るか検討していく。 | | | |

2-1-(5)産業連携の推進
優先項目にかかる取り組み一覧

| 団体名 | 取り組みの方向性 | 期待する効果 | 具体的な取り組み | 各年度の具体的な取り組み | | | |
|------------------|---|---|-------------------------|---|---|---|---|
| | | | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
| 鳥羽志摩農協協同組合 | <p>1. 地域の生産物・加工品の知名度を高め、更なるブランド化を進める必要があるが、第一次産業の発展には生産者の高齢化・担い手不足に対する対応が必要となります。新たな担い手の育成・確保を図る取り組みについて、関係団体が情報交換できる機会づくりに努めます。</p> <p>2. 手塩を掛けた農作物が野生動物に荒されており、生産者が生産現場で積極的な農作業に従事できる環境作りの為の鳥獣害対策を支援する制度等の研修会の開催に努めます。</p> | <p>1. 農業担い手の確保に向けた意識の醸成</p> <p>2. 鳥獣害対策を進める事で、農業従事者の拡大</p> | 行政等と連携した地域おこし協力隊の導入 | 平成29年度 募集・受入 研修実施 | 平成30年度 研修実施 | 平成31年度 研修実施 | 平成32年度 新規就農 |
| | | | 目標値 | 2名 | 2名 | 2名 | 2名 |
| 産業振興部 (水産課) | <p>漁業だけでなく、農業、生産・加工業、観光業等の異業種とも連携した協議により、市内の地域産物だけでなく志摩市に関するあらゆるものからブランド化を模索することが望ましいが、当課としては水産物のブランド化を重視していく。また、分かりやすい魅力的な情報発信を行い、志摩市内外に情報発信していく。</p> <p>○アカモクを活用した6次産業化等の取り組みの充実を図る。</p> <p>○三重県真珠振興協議会における「三重の真珠」のすばらしさを発信する取り組みへの支援を行う。</p> | <p>基本方針における地域の魅力の向上と発信(地域ブランディング)に位置づけられる。水産物のブランド化により、漁家所得を向上させ、漁業の担い手を確保して、第一次産業の活性化による人的資源の市外流出の抑制に効果を発揮する。</p> | 産業連携の推進 | 三重県真珠振興協議会 志摩市6次産業化推進協議会 志摩市地域ブランド推進協議会 オール志摩観光推進ネットワーク会議 市内高校(水産高校・志摩高校)や三重大学・立命館大学等との連携 | 三重県真珠振興協議会 志摩市6次産業化推進協議会 志摩市地域ブランド推進協議会 オール志摩観光推進ネットワーク会議 市内高校(水産高校・志摩高校)や三重大学・立命館大学等との連携 | 三重県真珠振興協議会 志摩市6次産業化推進協議会 志摩市地域ブランド推進協議会 オール志摩観光推進ネットワーク会議 市内高校(水産高校・志摩高校)や三重大学・立命館大学等との連携 | 三重県真珠振興協議会 志摩市6次産業化推進協議会 志摩市地域ブランド推進協議会 オール志摩観光推進ネットワーク会議 市内高校(水産高校・志摩高校)や三重大学・立命館大学等との連携 |
| | | | 目標値 | 連携の数を増やせば良いというものではないので、それぞれの連携内容の充実を図る。 | | | |
| | | | 産業連携の推進 | 三重県真珠振興協議会 志摩市6次産業化推進協議会 志摩市地域ブランド推進協議会 オール志摩観光推進ネットワーク会議 市内高校(水産高校・志摩高校)や三重大学・立命館大学等との連携 | 三重県真珠振興協議会 志摩市6次産業化推進協議会 志摩市地域ブランド推進協議会 オール志摩観光推進ネットワーク会議 市内高校(水産高校・志摩高校)や三重大学・立命館大学等との連携 | 三重県真珠振興協議会 志摩市6次産業化推進協議会 志摩市地域ブランド推進協議会 オール志摩観光推進ネットワーク会議 市内高校(水産高校・志摩高校)や三重大学・立命館大学等との連携 | 三重県真珠振興協議会 志摩市6次産業化推進協議会 志摩市地域ブランド推進協議会 オール志摩観光推進ネットワーク会議 市内高校(水産高校・志摩高校)や三重大学・立命館大学等との連携 |
| 目標値 | 6 | 7 | 8 | 8 | | | |
| 産業振興部 (農林課) | <p>農業者においては、新たな販路拡大や効率的、省力的な農業経営への取り組みへの情報取得が難しいことから、農業者間や、農業者と漁業者、商工業者、観光業者と情報交換できる場を設け、積極的なイノベーションの構築を図っていく。また、6次産業化や農業振興について活用できる事業や制度の情報を発信していくことにより、農業活動の支援を図り、農業振興を図っていく。</p> | <p>情報交換の場の提供や市ホームページ等での情報発信を実施することで農業の担い手の活性化を促す。</p> | 既存協議会等での情報交換 | 既存協議会で情報交換の時間の確保 | 既存協議会で情報交換の時間の確保 | 既存協議会で情報交換の時間の確保 | 既存協議会で情報交換の時間の確保 |
| | | | 市ホームページへの農業制度等の情報発信 | 農業者の活用可能な制度等の掲載 | 農業者の活用可能な制度等及び農業者や市の取り組みを掲載 | 農業者の活用可能な制度等及び農業者や市の取り組みを掲載 | 農業者の活用可能な制度等及び農業者や市の取り組みを掲載 |
| 目標値 | 市ホームページに掲載 | 市ホームページに農業者の取り組みを1件以上掲載 | 市ホームページに農業者の取り組みを2件以上掲載 | 市ホームページに農業者の取り組みを3件以上掲載 | | | |
| 産業振興部 (観光商工課) | <p>○志摩市の優れた地域資源を「志摩ブランド」として認定し、その販売を支援するとともに、志摩ブランドの情報発信を通じて観光客の誘致を促し、地域経済の活性化を図る。</p> <p>○志摩市観光振興計画に基づき、観光関連事業者、関係企業、行政機関、市民が連携することにより、官民一体となって観光振興を推進していくこと、また観光振興計画の継続と進捗状況を管理することを目的とし、オール志摩観光推進ネットワーク会議を開催する。</p> | <p>志摩ブランドの情報発信を通じて観光客の誘致を促進。地域経済の活性化。</p> <p>観光推進に関わる事業やプロジェクトなどの検討組織として定期的に情報共有するとともに意見交換の場を設け、志摩市の観光推進を検討し、牽引する組織となる。</p> | 産業連携の推進 | 志摩市地域ブランド推進協議会 | 志摩市地域ブランド推進協議会 | 志摩市地域ブランド推進協議会 | 志摩市地域ブランド推進協議会 |
| | | | オール志摩観光推進ネットワーク会議 | オール志摩観光推進ネットワーク会議 | オール志摩観光推進ネットワーク会議 | オール志摩観光推進ネットワーク会議 | |
| 目標値 | 志摩ブランド累計 14品目 | 志摩ブランド累計 17品目 | 志摩ブランド累計 20品目 | 志摩ブランド累計 23品目 | | | |

2-1-(5)産業連携の推進
優先項目にかかる取り組み一覧

| 団体名 | 取り組みの方向性 | 期待する効果 | 具体的な取り組み | 各年度の具体的な取り組み | | | |
|-----|----------|--------|-----------|--------------|------------|------------|--------|
| | | | | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
| | | | 具体的な事業の提案 | 事業実現方策の検討 | 観光振興計画の見直し | 新観光振興計画の策定 | |